

2019 年度 事業報告

生活介護事業・就労継続支援B型事業（ポップコーン）

1、活動報告

「生活介護」

今年度は新たに2名の仲間が加わり31名（利用定員は30名のまま）のスタートとなった。経緯については、以前からの通所者であるUさんは開所日の半数日の利用に留まっていたほとんどの土曜日にはお休みとなっていたこと。令和2年春に高等部卒業のSさんが、ポップコーンへの通所を週1回でもいいからと強く希望されていたので、Uさんに了承の上でSさんの土曜日利用となりました。しかし、ポップコーンとしては、日々の活動を通して発達に視点をあてて仲間を見守っていくことを理念としていますので、毎日通所をされることを基本としていくことは揺るぎありません。（今回は第二施設の構想もふまえての特例と考えています。）

利用者支援は、昨年度と同じく障害特性ごとに3班に分かれ生産・創作活動を行った。一人ひとりが主役になれる時間を大切に、安心して過ごせる環境づくりも心がけました。

生産活動のなかで大切にすることは、「働く」ことで社会とのつながりを知る、また「給与」がもらえる「好きな物を買に行ける楽しみが生まれる」という繋がりを何となくでも分かってもらえることを目標に長い長いスパンで捉えていくことにしています。

次に、創作活動については、班ごとに目標を立てて取り組んだものを報告します。

1 班…言葉での意思表示が難しい仲間が多く一人ひとりの表情やからだの動きなど表現を大切に、皆が大好きな音楽やリズム遊び、そして絵本の読み聞かせと感触遊び等を存分に行いました。月日の経過と共に、リズム遊びが生活の一部になり音が聞こえると体を動かしたり笑顔がこぼれたり「なんだか楽しい」そんな雰囲気が満ち溢れます。言葉が多く出るようになった仲間、問いかけにしっかり答えられる仲間そんな姿に職員が驚くこともありました。確かな発達を感じさせてもらっています。

2 班…生産活動の中でTさんはパソコンのスキルアップが著しく、仲間新聞の完成度が高くなりました。名刺も注文者からの要望も直に聞いてもらいながら作成し受け渡しもTさんにしてもらっています。

仲間一人ひとりの「やりたいこと」を皆で実現することを行いました。例えば「イントロゲーム」では少しでも難しいクイズを各々に考えたり、相手に探りを入れたり回数を重ねるごとに工夫をこらしていました。ゲームを通しお互いの考えを知ることができ、そして共通の話題で会話する機会も増えたことで、一層仲間同士の絆が深まっていきます。

3 班…自閉的傾向の仲間が多いため、障害特性に配慮しながら見通しを持ちやすく、わかりやすい環境設定に努めました。また仲間たちの大好きな活動（季節を感じる外出、芸術、スノーブレン）を多く取り入れました。普段お互いのことを意識していなさそうにみえる仲間たちも好きな活動中は、周りの動きに合わせて行動したり、手伝ってあげたりと主体的に動く姿もでてきます。

一方、日々の生活のなかで命と直結する医療的ケアの仲間は、毎月保護者と緊急時の対応と機材の確認をする時間を設けました。双方に不安や戸惑いを解消することを今も継続しています。強度行動障害の仲間たちは、安定した生活リズムで過ごす日が少なく、家庭に戻ってもパニック

に陥る日も多いです。その都度、何に不安や困難を感じ葛藤しているのかを探りつつ保護者と連携を図り、彼らにあった生活パターンの確立と安心して過ごせるようにするにはどうしたらよいのか試行錯誤を重ね支援しています。

そして直面している課題は職員の確保です。産休・育児休暇の職員がいたり年度途中で退職者もでたため、求人するも応募はなく職員減となりました。やむなく10月から人員体制加算値を下げて対応した。毎月の報酬減はもちろんのこと、なによりも一番大切にしたい仲間たちの支援にも少なからず影響しています。職員確保と定着は本当に急務です。

「就労継続支援B型」

利用定員10名に対し今年度の利用者人数は3名でした。うち2名の仲間は、他サービスを利用しています。そして体調を考慮し週1回から2回の利用状況です。そのことから1日あたりの平均利用者数は1.4名と少ない状態は今も続いています。

1日あたりの利用人数が少ないことで職員と1対1になる時間が多く、仲間の要求や願いに素早く対応できました。下請け作業は、幸い工程に変更はなく自分の決めたことを最後までミスなく丁寧に頑張っています。

毎日通所する仲間は、月日の経過と共にこだわりが強くなっていきました。理由は様々あると思いますが、その都度、話し合いをしながら約束ごとを決め進めています。しかし、約束ごとが逆にこだわりになってしまうことも多々あります。今後は他の仲間と触れ合う機会を多く作るなかで、こだわり行動を見守っていきたいと思います。

2 各事業の取り組み

「生活介護事業」

重度・重複障害者を中心に生産活動や生活を通して発達を支援し、地域社会の中で生きがいを感じていけるように個々の障害に合わせた創作的活動を行いました。

(1) 個別支援計画作成

(2) 身体等の介護

(3) 入浴(週2回)

(4) 生産活動

・雑貨製品 ・製造販売(オープン陶土工芸、画鋏、クリップ、ビーズ)

・アルミ缶 ・ペットボトル ・飲料用パックリサイクル回収、分別

・軽作業 ・物品販売 ・野菜作り、販売

(5) 創作的活動

・調理実習 ・リトミック、音楽活動、スヌーズレン ・工作等創作活動 ・芸術活動

(6) 外出

・散歩、外食、公共施設(図書館、プール)、買い物 ・季節を感じる外出

(7) 送迎

「就労継続支援B型事業」

自立した日常生活または社会生活を営むことができることを目標に、生産活動その他機会を通して、その知識及び能力の向上につながるよう支援に努めました。

身体的に重度な方には、休憩、ストレッチをとることを進めるなど体調面を留意して行いま

した。又外出活動を取り入れることで生活にメリハリができ、それが仲間達の活力に繋がりました。

(1) 個別支援計画作成

(2) 生産活動

・下請け作業（1ヵ所の会社） ・ケーキ製造・販売（年3回） ・物品販売

(3) 外出（散歩・外食）

(4) 送迎

(5) 工賃

3 2019年度 年間延べ利用者数及び開所日数

生活介護事業 （定員 30 名 2020 年 3 月 31 日 現在 31 名）

(1) 開所日数 242 日

(2) 年間延べ利用者数 6,941 人（1 日平均実利用人数：28.7 人）

就労継続支援B型事業 （定員 10 名 2020 年 3 月 31 日 現在 3 名）

(1) 開所日数 242 日

(2) 年間延べ利用者数 339 人（1 日平均利用人数：1.4 人）

(3) 年間利用者日数 200 日以下人数 2 人（欠席理由：他サービス利用と体調の事を考慮して）

4 年間行事

4 月 入所式

5 月 岐阜県障害福祉事業所連絡会総会

6 月 FC岐阜サッカー観戦

8 月 寿楽苑夏祭り

9 月 愛護バス事業

10 月 交流運動会 サンビレッジ国際医療福祉専門学校交流会 岐北中学校交流会

11 月 サンビレッジ国際医療福祉専門学校交流会 寿楽苑文化祭 ふれあいまつり

12 月 クリスマス会

1 月 新年会 新成人を祝う会

*毎月地域アルミ缶回収を行いました。

令和 1 年度活動報告

特定相談支援事業所 ステップ

・活動報告

障害者ご本人やご家族の願いに寄り添い、その人らしく地域生活が送れるサービスを提案しつつサービス等利用計画を作成しています。具体的な支援については、関係機関・関係者と情報を共有しながら、ご本人の意向に沿っているか？を確認しながら進めています。また多くの関係機関が関わっている場合は担当者会議を開催します。それぞれの機関はそれぞれの役割業務が多忙で集まっていただくのは容易ではありません。が、まずは来ていただける所だけでおこなっています。顔がみえるところでの情報の共有化はとても心強い気がしています。

精神手帳の方については、病院の医師が障害福祉サービス（A 型事業所、B 型事業所）とはどのようなものか理解が進んでおらず、本人の意思だけで OK（実際には A 型事業所ではとても無理）がでてしまうケースや、ご自分で何事も決められ行動されるので、働きだされてもすぐやめたり、手帳まで返還されたりを繰り返されるケースがあるなど相談支援員が翻弄させられています。精神関係機関は障害福祉サービスを熟知されることを望みます。

制度変更でモニタリングの期間が短くなり回数が多くなりました。

・扱い件数

障害者特定相談支援事業

サービス等利用計画案作成	56 件
モニタリング報告書作成	167 件
合計	223 件

障害児祖特定相談支援事業

サービス等利用計画案作成	1 件
モニタリング報告書作成	4 件
合計	5 件

令和元年度事業報告

共同生活援助事業所（グループホーム）

ふぁみりいポップ

入居者 5名

開所日 月、火、木、金の夕方から翌朝

※祝日はお休み

※ポップコーンの開所日に合わせて変更有

大切にしたこと

- ・入居者の第二の自宅としてくつろげる場になるように努めました。
- ・必要に応じて保護者と密に連絡をとりあいました。
- ・地域の方との交流をもつため、自治会活動等に参加しました（職員）。

具体的な支援内容

- (1) 共同生活援助計画の作成
- (2) 食事・排泄・入浴等日常生活の介助
 - ・入居者の安全・安心を第一にして介助しました。
 - ・てんかん発作をもっている入居者には、発作時の転倒による怪我などの未然防止に細心の注意を払いました。
- (3) 趣味やお楽しみの時間の提供
 - ・ゆったりした時間の中でくつろげるよう、テレビやDVDやパソコンを用いました。
 - ・入居者によってソフトブロック、絵本、タブレット端末などを利用しました。
 - ・仲間の誕生日祝いや季節の行事など、イベントを2か月に1回程度企画しました。
- (4) 日常的な相談や話し相手
 - ・日常の中で話し相手になりました。
- (5) 食事の提供
 - ・健康に気を配った献立、心をこめて調理しました。
 - ・その日の献立を仲間が見やすいように掲示しました。
- (6) 健康管理・金銭管理の手助け
 - ・気候に合わせた室温、衣服、寝具を心がけました。入浴方法も気候に合わせて調整しました。
 - ・必要に応じて、内科や歯科受診に同行しました。
 - ・服薬、与薬管理を徹底しました。
- (7) 夜間における安全確認や身体介助、排せつ介助
- (8) 緊急時の対応
- (9) 日中活動の場等との連絡・調整
 - ・仲間の状態等の情報を書類やFAXでポップコーン（日中活動施設）と毎日共有しました。
- (10) 衛生面の管理
 - ・2月以降行政からの通知を参考にしながら、新型コロナウイルスの感染対策を行いました。

一日の流れ

夕方	16 時	帰所・入浴	翌朝	6 時 15 分	起床
	18 時 15 分	夕食		7 時	朝食
	19 時	自由		8 時	出発準備
	21 時 30 分	リビング消灯		9 時 15 分	出発
	23 時	個室消灯			

年間の記録

2019 年

- 4 月 お花見
 - 地域 排水路の清掃参加（職員）
 - 平成最後の日に流行りのスイーツを食べよう
- 5 月 地域 ごみゼロ運動参加（職員）
- 6 月 ふんすいフルーツポンチを作ろう
- 7 月 地域 板屋川クリーン作戦参加（職員）
 - 誕生日会 かつ井作り
- 8 月 地域 排水路の清掃参加（職員）
- 9 月 誕生日会 月見
- 10 月 誕生日会 さつまいもを揚げたスイーツ
- 11 月 芋ほり
 - 地域 クリーンシティ運動参加（職員）
- 12 月 誕生日会 クリスマス会 クッキーをデコレーション 大きなスイートポテト

2020 年

- 2 月 誕生日会 ケーキ エビフライ
- 3 月 地域 排水路の清掃参加（職員）

令和元年度事業報告

短期入所事業所（ショートステイ） ほたる

開所日 月、火、木、金の夕方から翌朝

※祝日はお休み

※ポップコーン（日中活動施設）の開所日に合わせて変更有

受入実績

※利用登録者 26名（ポップコーン利用者 23名、その他 3名。令和2年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	26	26	24	21	21	19	17	20	18	20	19	19	248
開所日数	17	16	16	17	17	15	16	15	16	15	14	17	195

利用者数は、のべ人数

大切にしたこと

- ・安心して過ごしていただけるように、仲間一人ひとりの生活の流れや職員の関わり方に注意を払いました。
- ・日ごろから保護者との連絡を密にし、必要なときに話し合いをもちました。
- ・家庭の緊急時は受け入れに努めました。
- ・他施設に通所されている方も、外泊体験として若干名受け入れました。

具体的な支援内容

（1）食事・排泄・入浴等日常生活の介助

- ・利用者の安全・安心を第一にして介助しました。
- ・てんかん発作をもっている利用者には、発作時の転倒による怪我などの未然防止に細心の注意を払いました。

（2）趣味やお楽しみの時間の提供

- ・ゆったりした時間の中でくつろげるよう、テレビやDVDやパソコンを用いました。

（3）日常的な相談や話し相手

（4）食事の提供

- ・健康に気を配った献立、心をこめて調理しました。
- ・その日の献立を仲間が見やすいように掲示しました。

（5）健康管理・金銭管理の手助け

- ・気候に合わせた室温、衣服、寝具を心がけました。入浴方法も気候に合わせて調整しました。
- ・服薬、与薬管理を徹底しました。

（7）夜間における安全確認や身体介助、排せつ介助

（8）緊急時の対応

（9）日中活動の場等との連絡・調整

- ・仲間の状態等の情報を書類やFAXでポップコーン（日中活動施設）と毎日共有しました。

（10）衛生面の管理

- ・2月以降行政からの通知を参考にしながら、新型コロナウイルスの感染対策を行いました。

一日の流れ

夕方

16時	帰所・入浴
18時15分	夕食
19時	自由
21時30分	リビング消灯
23時	個室消灯

翌朝

6時30分	起床
7時	朝食
8時	出発準備
9時15分	出発